

富士見町の持つ豊かな人間力・地域力、底力を活かしたい

名取重治町長 就任のご挨拶



他の市町村と比較しても決して劣らない多くの強み、特性を持っています。

長い歳月の間、厳しい自然環境と対峙する中で、この地域の人々の間に培われてきた忍耐力や勤勉性、困難に対する団結力、周囲の人々への優しさ、そして自然の恵みに対する感謝と畏敬の念。

こういう精神性や自然条件の中で育まれたこの地域の風土、歴史、文化そしてこの町に暮らす人々に私は限らない愛着を覚えていきます。

恵まれた自然や大都市圏からのアクセスの良さも大きな強みです。

町の農業には蓄積された技能・技術があり、工業にも卓越したものづくりの技能・技術と開発力があります。

また、それぞれの地域の中には、お互いに支え合い、協力し合い、共に喜びや悲しみを分かち合える風土があります。

これらが地域力であり、人間力です。これこそが底力だと思います。

このような人間力・地域力豊かな町だからこそ、富士見町に移り住んでこられた方々も多いはずです。

この豊かな人間力、地域力、底力を守り、伸ばし、引き継いでいくことが私の使命であると考えています。

そして町の強みである多くの資源、特性を総合的にバランス良く高めることこそが町の活性化、人口減対策にも繋がっていくものと信じています。

経験を活かした町政運営

私は民間の製造会社に28年間、役場に12年間勤務をしてきました。従って官民双方からの視点を持つていると思っています。官と民ではどちらが良い、悪いではなく、物の見方や考え方、その切り口に明らかに差があります。

特にスピード感覚やコスト意識には違いがあります。その違いがあるということを知っているのも私の強みです。

また、私は役場勤務の中で矢

嶋、小林お二人の町長の元で仕事をさせていただきました。お二人ともそれぞれに独特の個性の持ち主であり、実績も残してこられました。近くにおいて、折に触れ、いろいろと学ばせていただき、今の私の大きな財産となっています。

こういった経験も活かしながら、私なりの町政運営をしたいと思えます。

私は私の色で、私なりのリーダーシップで町政を担っていきます。

そして、町民の皆様の声をこまめに吸収し、町民の皆様と意欲ある町職員の智慧を結集しながら、よりよい町づくりに向けて誠心誠意取り組んで参りますので、どうかご指導、ご協力をお願い申し上げます。

富士見町の自然と、いかに住む人々に限らない愛着

就任に当たって私の富士見町に対する想い、町政に対する基本的な考えを皆様にお伝え致します。

私は、富士見町には大きな底力があると思っています。

